

2020 年度関東支部大会報告

実行委員長 長尾 素子^A

【メインルーム】

第7回関東支部大会

2020年9月19日 (土) 13:00~17:25

- ・支部総会 (13:00~13:10) は、サブルームで開催します。
- ・支部総会に出席されない方は、開会 (13:15) までしばらくお待ちください。
- ・マイクをミュートにしてください。
- ・お名前は「氏名@所属」に設定してください。

グローバル人材育成教育学会
THE JAPAN ASSOCIATION FOR GLOBAL COMPETENCY EDUCATION

さる9月19日(土)に、「グローバル人材育成教育学会第7回関東支部大会」(大会テーマ「新しい時代における国際交流・教育」)が開催されました。当初は、6月に開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、延期となっておりました。その後、開催について検討を重ね、オンラインによる支部大会の開催を初めて試みることにいたしました。オンラインによる授業にやっと慣れたところではありましたが、学会の運営となると、経験不足は明らかです。果たして、発表者の方々、賛助会員企業様、参加の皆様に満足していただける内容の運営ができるだろうか、不安の中で準備を進めることになりました。

終わってみれば、心配は杞憂に終わり、実行委員の皆様からのご助言とご協力のお陰で、約100名もの皆様にご参加いただきました。オンラインならではの良さもあり、日本全国から、さらには海外からの参加もありました。まさに関東支部(ローカル)という一地域の大会が世界(グローバル)に開かれているというのを実感する1日となりました。

奇しくも、大会テーマは「新しい時代における国際交流・教育」であり、ウィズコロナ、アフターコロナの時代にふさわしい国際交流のあり方を考えようというものでした。本大会そのものが、新しい学会のあり方になったように思います。

当日は、関東支部総会に続いて、大会実行委員長の挨拶により開会となりました。その後、メインルームとサブルームの2つのミーティングルームにてそれぞれ4つの発表が行われました。いずれも新しい時代にふさわしい国際交流や教育のあり方について、示唆に富む内容でした。

4つの発表の間に、賛助会員企業によるプレゼンテーションが行われました。続いて、明治大学学長の大六野耕作氏によるテーマ講演(題目「新しい時代における国際交流・教育」)、さらに大阪大学教授の近藤佐知彦氏によるテーマ報告(題目「新型コロナ流行と留学事業について緊急アンケート調査」)が続きました。

大六野氏は、明治大学におけるオンラインを用いた授業例や海外提携校の授業と明治大学の授業との融合について触れ、新しい教育のあり方が紹介されました。

A: 拓殖大学商学部

近藤氏は、大学教職員、留学生、日本人学生にアンケート調査を行い、コロナ禍における国際交流の問題点についての実態が報告されました。いずれの報告も、これまでとは異なる時代に求められる工夫と知恵について、緊急性の高いものであり、大きなヒントとなるものでした。活発な質疑応答がなされ、本大会テーマにふさわしい講演、報告となりました。

最後に、関東支部長の加藤俊一氏から挨拶の言葉が述べられ、閉会となりました。

例年行われてきた教育連携企画、情報交換会は中止

となりましたが、今回の経験を経て、今後は新たな学会の可能性を感じています。ウィズコロナの時代においては、すべてをオンラインで完結する学会、対面とオンラインのハイブリッド型、新しい形の情報交換会、海外とのコラボ開催など、選択肢が広がったように思います。

不慣れた運営にも関わらず、皆様のご支援とご協力のお陰で盛会となりました。改めまして、心よりお礼申し上げます。

受付日 2021年3月1日、受理日 2021年3月13日